

CC-Link News



Vol.8
Jan. 2003

会員数400社突破!! CLPA設立2年で会員数3倍に!
~グローバルスタンダードに向け快走中~

はじめに

CC-Linkのグローバル普及を図るCC-Link協会 (CLPA)が発足して、2002年11月で2年が過ぎました。

2年目の昨年も、仕様のパワーアップと精力的な普及活動によって更なる伸展を遂げることができました。

CC-Linkの優れた機能・性能が、パートナー会員の努力の結晶であるその製品力によって開花し、アジアや世界のユーザーに認められつつあると感じています。

海外パートナー会員の急増

パートナー会員数の今年度(2003年3月まで)の目標は390社でしたが、2002年12月で既に400社を超えました。特に、韓国を始めとする海外からの入会が活発で、海外パートナー会員数は180社に迫る勢いです。昨年の同時期では39社であったことを考えると、そのグローバル伸展の度合いもご理解いただけるでしょう。

2001年4月に設置した海外6拠点での普及活動が大きな成果を上げるようになってきたと言えます。

仕様のパワーアップ...テクニカル部会

2002年におけるCLPAテクニカル部会の精力的な活動とその成果には、目を見張るものがあります。

その一つに、2002年5月にリリースした「CC-Link/LT」の仕様策定が上げられます。2001年10月から検討を開始し、11月のSCF'2001および12月のSEMICON-J2001での7,500件にも上るアンケート調査結果も踏まえて、ユーザーのニーズである「盤内・装置内省配線」の仕様を纏め上げ、CLPA規格としてリリースできたことは、専

門部会活動の中でも特筆すべき成果となりました。

更に、2002年11月に広報発表し、このたびリリースした新仕様「CC-Link Ver.2.0」がCC-Linkのパワーアップに拍車を掛けることになるでしょう。

詳細仕様はテクニカル部会を中心に審議しました。送受信データを最大8倍とした基本仕様をまず策定し、ターゲット分野の半導体製造装置メーカーが一堂に会するSEMICON-J2002で、CC-Linkの新技术として、いち早く情報提供できた効果は、ユーザーやパートナーの皆様にとっても大きいものがあります。

精力的普及活動...マーケティング部会

CC-Linkの優れた機能や性能および応用事例、テクニカル部会での成果、CLPAの活動等の情報をユーザーやパートナー会員にいち早くお伝えするため、マーケティング部会は、セミナー・展示会・パートナー製品カタログ・CLPAパンフレット・ホームページ等の企画や制作、実施と、昨年も精力的に活動し、成果を上げてきました。

12月4日から3日間、幕張メッセで開催されたSEMICON-J2002には、これまでに述べた活動と成果があったればこそ、これらの全てを凝縮・結集したレベルの高い出展を果たすことができたと思います。

CLPAパートナー会員による精力的活動が、時代の動向である“EES”(Equipment Engineering System:装置エンジニアリングシステム)に対する“CC-Linkでのソリューション”を可能にできたと言えるでしょう。

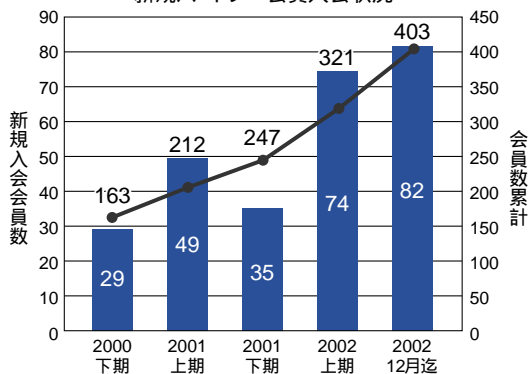
半導体製造装置での採用拡大

2002年の9月の調査で、半導体・液晶製造装置関連でのCC-Linkの採用実績は63社に上ることが分かりました。前年の同時期では32社でしたから、この1年で、ほぼ倍増していることになります。

この1年で100機種にのぼるパートナー製品が新たにコンFORMANCEテストに合格、累計450機種を超えてユーザーの利便性や選択肢を向上させたことも、採用拡大の引き金となったものと推察しています。

CLPAでは現在、SEMICON-J2002で皆様から寄せられたアンケートを分析中です。この結果も踏まえ2003年の活動を計画・実行し、成果を皆様に還元していきますので、ご期待いただくとともに、ご支援をよろしくお願い致します。

新規パートナー会員入会状況



オープンフィールドネットワーク「CC-Link Ver.2.0」をリリース!

CC-Link V2

送受信データ量を最大8倍にバージョンアップ

バージョンアップの背景

CC-Linkは、データ伝送の高速性、定時性などの優れた性能により、幅広く支持されておりますが、その一方で、半導体製造工程のIn-Situモニタ用に代表されるような“1台で大量のデータの送受信を必要とする用途”が多くなってきており、このような装置・機器にも対応できるようにデータ量を拡張して欲しいとの声がユーザーやベンダーから寄せられています。CLPAでは、これらの要望に応えるために、テクニカル部会を中心にCC-Link通信仕様のバージョンアップの検討・審議を進め、この度その仕様が正式に決定しました。

今回のバージョンアップは、送受信データ量を最大8倍まで拡張可能にしたものであり、従来からのFA分野に加え、特に半導体製造装置や計装制御などでの大容量のデータ通信が要求される分野にまで適用範囲が広がり、日本発のオープンフィールドネットワークとして、国内外の産業界に広く普及・拡大が期待できます。

バージョンアップの狙いとターゲット分野

「CC-Link Ver.2.0」は、従来からの自動車、半導体、搬送、食品など各種FA分野での省配線を目的とした用途に加えて、半導体製造工程における“ In-Situ モニタ ”や“ APC ”(Advanced Process Control)用、計装制御における“ 多チャンネルのアナログ / デジタル変換データの送受信 ”用など、大容量でしかも定時性のあるデータ送受信が必要とされる用途・分野でのニーズに応えたものです。

バージョンアップの内容(新バージョンの基本仕様)

(1) 通信仕様(現バージョンとの比較)

項目	新バージョン Ver.2.0の仕様	現バージョン Ver.1.1の仕様	備考 (Ver.2.0/Ver.1.1)	
最大リンク点数(データ量)	RX/RY : 8192ビット	RX/RY : 2048ビット	4倍	
	RWw/RWr : 各2048ワード	RWw/RWr : 各256ワード	8倍	
1台当たりの リンク点数 (データ量)	1局占有時	RX/RY : 32 ~ 128ビット	RX/RY : 32ビット	4倍
		RWw/RWr : 各8 ~ 32ワード	RWw/RWr : 各4ワード	8倍
	4局占有時	RX/RY : 224 ~ 896ビット	RX/RY : 128ビット	7倍
		RWw/RWr : 各32 ~ 128ワード	RWw/RWr : 各16ワード	8倍
1台当たりの占有局数	1 ~ 4	同左		
拡張サイクルリック設定	1倍、2倍、4倍、8倍	なし		

(2) ネットワーク上での互換性

マスター局が新バージョン(Ver.2.0)対応品の場合、スレーブ局としては現バージョン対応品のみでも、新・現バージョン対応品混在でも、現バージョン対応品は何ら変更することなしに使用(通信・制御)ができます。(但し、現バージョン対応品は現バージョンの仕様範囲内での使用)

CC-Link仕様書(Ver.2.0対応)提供開始!

CLPAでは、Ver.2.0の仕様を盛り込んだ「CC-Link仕様書」のご提供を開始いたしました。

CC-Link仕様書は、CLPA会員の方に無償でご提供しています。ご希望の方は、CC-Link協会までご連絡ください。

CC-Link基礎セミナー CC-Linkの基礎知識を学ぼう!

日時: 1月30日(木) 14:00 ~ 16:30
内容: CC-Link Ver.2.0、CC-Link/LTについて

CC-Link開発者セミナー CC-Linkの開発手法を学ぼう!

日時: 2月7日(金) 14:00 ~ 17:00
内容: 通信LSIを使用した機器開発、受託開発について

会場: 三田NNビルスペースC 東京都港区芝4-1-23 TEL:03-5443-3233

<最寄駅 JR山手線田町駅・都営三田線 / 浅草駅、三田駅>

申込方法: CLPAホームページの“イベント”よりお申し込みください。
参加費無料・定員30名(先着順)

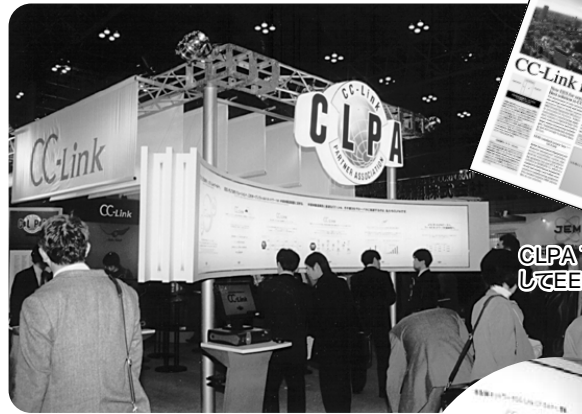
SEMICON Japan2002 CLPAブースに2300名が来場!

2002年12月4日～6日の3日間、幕張メッセにて「SEMICON Japan2002」が開催され、CLPAブースに2300名の来場をいただきました。出展内容は「EES for CC-Link」のコンセプトのもと、メインステージでのプレゼンテーション、パネル展示、CLPA Timesと一貫して訴求すると共に、71社150機種のパートナー製品紹介、CC-Link Ver2.0等の紹介を実施しました。今回の出展を契機に、SEMI業界におけるCC-Linkのさらなる普及加速をCLPAは確信しています。



Shake Hands

もっとオープン&グローバルへ、CC-Link。



CLPA Timesを配布してEESをアピール

賑わうCLPAブース



「CC-Link for EES」プレゼンテーションに耳を傾ける来場者のみなさん



CC-Link採用の半導体製造装置メーカーは63社!



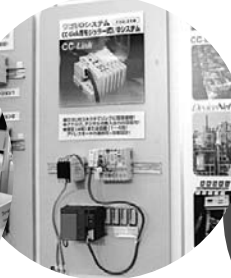
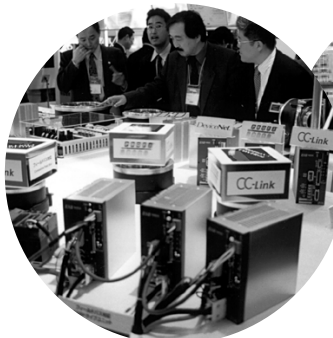
パソコンによるパートナー製品紹介



運営スタッフはパートナーのみなさんごくろうさまでした



関口会長も装置メーカーを巡回



各パートナーブースではCC-Link製品を展示



CC-Link対応製品続々登場!

新たにCC-Link適合試験に合格したパートナー製品をご紹介します。

ワゴジャパン株式会社

CC-Link用モジュラー式I/Oシステム

固定または自動アドレスモードの切り替えができます。

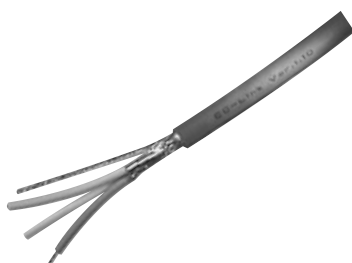
通信スピード設定ロータリースイッチの位置を選ぶことで行います。

占有局数を選ぶことができます(最大4局)。

他社はユニットごとに占有する局数は固定ですが、ワゴI/Oは組み込まれるモジュール数に応じて局数を選定できます(自動アドレスモード)。

アナログ、デジタルの各入出力が混在できます。各入出力モジュールの組み合わせ、および位置を自由に選ぶことができます。

必要な点数に応じてモジュールを構成できるので、コストおよびスペース効率のよい設計ができます。



日本電線工業株式会社

CCNC-SB110H CC-Link Ver.1.10対応専用ケーブル

難燃・耐油・耐熱性能に優れ、柔軟性と細径化により配線作業が容易です。

10Mbpsの高速伝送に対応し、CC-Link Ver.1.10の性能を十分に発揮します。

標準条長は200m。ただし、ご希望の長さに切断し、即納致します。

UL規格に対応(AWM Style2464)。

ケーブル外径は約7.6mm。

マーケティング部会長就任のご挨拶



松下電工株式会社 制御機器分社

稲森 満弘 氏

このたび、CC-Link協会 マーケティング部会長を拝命しました稲森です。

マーケティング部会では、これまでCC-Linkの普及、認知度向上めざし、大変精力的に各種活動に取り組まれてきました。その結果、日本発のオープンネットワークとして、国内外の産業界に広く知られるようになりました。さらにCC-Link/LTやCC-Link Ver.2.0がリリースされ、ますます適用範囲の広がりが期待されております。さらなる普及・拡大を果たすべく、微力ながら取り組んで参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

CLPA Schedule

1月

30日 CC-Link基礎セミナー(東京)

2月

7日 CC-Link開発者セミナー(東京)

13日 第11回マーケティング部会

12,13日 MTEC展示会(UK)

19日 第12回幹事会

3月

4~7日 KOFA 2003(ソウル)

CLPA Information

CC-Link協会パートナー会員数:403社(2002年12月現在)

CC-Link接続製品数:454製品(2002年12月現在)

海外からの入会も急増し、会員数が400社を超えました。2003年も500社、1000社とCC-Linkのグローバルレベルでの普及を目指し、パートナーのみなさまと一丸となって活動を展開してまいります! みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

〒461-0011

名古屋市東区白壁3丁目12-13

CC-Link 協会

事務局長 原田 昭男

TEL (052)936-6050 FAX (052)936-6005

E-MAIL:cc-link@post0.mind.ne.jp

URL:http://www.cc-link.org

